

# 前橋地方法務局紹介

皆さんの中には、「前橋地方法務局ってどういう雰囲気なんだろう」、「群馬県ってどんなところだろうか」と思われる人もいるのではないのでしょうか。

そこで、前橋局、そして群馬県について少しご紹介をさせていただきます。

## ■前橋地方法務局ってどんなところ？



前橋地方法務局は、職員数が約150名（男性65%、女性35%）で、本局のほかに、支局が7つ（高崎市や太田市等）、出張所が1つ（渋川市）あります。首都圏の局と比べれば規模は大きくありませんが、その分、**結束が強い職場**です。そして、**後輩に親身になってくれる優しい職員が多い**のも前橋局の特徴です。きっと皆さんも、入局後、安心して働けるとおもいます。

ちなみに、平成27年夏、本局庁舎が新しくなりました。**良い職場環境でのびのび働ける**のも前橋局の魅力です。

←本局庁舎

## ■群馬県といえば…



↑  
だるまと上毛かるた  
に囲まれた「トウキツネ」

### ・高崎だるま

群馬県は日本でも屈指のだるまの生産地です。

特徴は形全体が丸みを帯びて、ふくよかな形状です。眉毛は鶴、ひげは亀を表現していて、縁起の良さから人々に親しまれています。

前橋地方法務局の職場にも飾られており、いつも職員を温かく見守ってくれています。

### ・上毛かるた

昭和22年に「子供達に郷土群馬県をよく知り、そして郷土を愛するようになってほしい」という願いを込めて作られた上毛かるたは、県内の学校で盛んに競技会が行われる等、県民にとってはポピュラーなものになっています。

職員一同、入局される皆さんを歓迎します。

皆さんをサポートしつつ、共に前橋局を盛り上げていきたいと考えています。

**一緒に頑張りましょう！**

## 先輩職員からのメッセージ

前橋地方法務局

人権擁護課 男性職員（4年目）

日々の業務でどのようなやりがいや充実感がありますか？

「子どもの人権SOSミニレター」では、子ども達から悩みなどが書かれた多くのレターが寄せられます。こどもらしいほっこりさせられる悩みもあれば、心が痛くなる悩みが書かれていることもあり、悩みを抱える子ども達に向き合い、どう返事をしたらレターを出してくれた子ども達のためになるのか、責任とやりがいを感じながら日々対応に当たっています。

法務局を志望される方へひとこと

私は採用後、不動産登記事務を2年経験し現在に至りますが、異動後は業務の違いにびっくりしたことを覚えています。しかし色々な業務に挑戦できることも法務局の魅力です。ぜひ前橋地方法務局を志望してください。

前橋地方法務局

不動産登記部門 女性職員（2年目）

日々の業務でどのようなやりがいや充実感がありますか？

不動産登記の業務は法律に基づいて行うので、初めはわからないことが多いですが、日々の業務に取り組むことで理解できることが増え、仕事の幅が広がっていくことを感じるすることができます。

法務局を志望される方へひとこと

私は「法務局」がどのような仕事を行っているのか詳しくは分からずに入局しましたが、上司や先輩方が丁寧に仕事を教えてくださり仕事を覚えることができました。困っていると手を差し伸べてくれる温かい職場です。ぜひ法務局で一緒に働きましょう！

前橋地方法務局

富岡支局 男性職員（2年目）

日々の業務でどのようなやりがいや充実感がありますか？

供託事件について、書籍などを参考にしながら上司に何度も相談し、自分の力で処理できることが増えたときなどに「供託について、また1歩理解することができた」と大きなやりがいを感じます！

法務局を志望される方へひとこと

内定当時、「こんなに難しい仕事、自分にできるのか」ととても心配でしたが、上司や先輩職員から丁寧に仕事を教えて頂くことができ、今では法務局の一員として仕事ができることを誇りに感じています。安心して採用の日を迎えていただきたいと思います！